

憲法第九条に関するアンケート調査について

2005年10月28日、自由民主党の憲法草案が発表され、これに憲法改正(悪)が現実味を帯びてきました。一部政党を除く既成政党もおおむね憲法改正の方針を打ち出しており、特に最大野党の若き代表は集团的自衛権の行使にまで踏み込む発言を繰り返して、自由民主党との差異どころか、この件に関してはむしろ積極的にさえ見えます。

党は憲法九条を含む改正の方針であり、今後の焦点は憲法改正に関する国民投票法案の行方といえます。しかしこれとて今の政治勢力からすると「より改憲しやすい国民投票法」となる可能性はきわめて高いといえます。そうであれば、憲法九条改悪を阻止するためにわれわれに残された最後の砦は「国民投票で否決する」ことです。

九条に関する集会を各地で開催し、最終的には何としてでも国民投票で憲法改悪を阻止しなければなりません。そのことが「二度と若者を戦場に送らない」ことであり、また300万人の日本人の命と2千万人の周辺アジア諸国民の命を奪った第二次世界大戦への真の反省といえるからです。沖縄の悲劇、広島・長崎の悲劇、アジア諸国民に与えた苦痛を二度と繰り返さないために……

再び日本を戦争する国にするのか、それとも平和憲法を堅持しアジア諸国との友好関係を再構築し、世界へ向かって平和共存を訴えていくのか、という広範な議論を惹起するために別紙アンケート調査を実施します。対象はあらゆる個人と団体を予定し、既に働きかけを開始しています。各地の「九条の会」はもとより、労働組合関係、市民運動団体、宗教者団体、民主団体にお願いたしと考えています。このアンケート調査を、現憲法九条を改悪することが日本を将来どこへ導くのか、また私達や私達の子供にとつてどのような意味を持つのかという身近な問題として議論する契機としたいと思えます。そしてできる限り「憲法

九条に関する集会を各地で開催し、最終的には何としてでも国民投票で憲法改悪を阻止しなければなりません。そのことが「二度と若者を戦場に送らない」ことであり、また300万人の日本人の命と2千万人の周辺アジア諸国民の命を奪った第二次世界大戦への真の反省といえるからです。沖縄の悲劇、広島・長崎の悲劇、アジア諸国民に与えた苦痛を二度と繰り返さないために……

改憲派の人々は口をそろえたように現憲法は「敗戦によりアメリカに押し付けられたもの」従って「自憲法を制定する必要がある」と主張していますが、果たしてそうでしょうか。確かに現憲法制定にあたりGHQがまったく関係してはいなかったとは言えないでしょう。しかしながら「恒久平和」を願い、「二度と戦争はしない」という誓いのもとに日本国民が自ら選り取ったものであることもまた事実です。政府も一貫して、現実の自衛隊がどうであれ、公式には「自衛隊を軍隊とは認めない」という憲法に沿った解釈を表明してきました。それが急展開を見せたのは小泉さんが総理大臣

「有事関連法の制定」や国連決議を無視したアメリカのイラク攻撃、それに追従した自衛隊の海外派兵など現憲法の平和条項を形骸化もしくは無視する政策を実施してきました。そして今憲法改悪へ向け進もうとしています。

その背景は現在アフガニスタンとイラクで手一杯のアメリカが日本をはじめとした同盟国に軍事的な役割分担を求めていることです。実際にアメリカ(アーミー・ジェンタル)の「日米同盟」として憲法九条は「障害」という発言は集团的自衛権の行使を日本に期待するという趣旨であり、明らかに改憲を迫ったものといえます。これこそまさに「アメリカに押し付けられたもの」ではないでしょうか。

小泉さんの頑ななまでの靖国参拝や外務大臣のアジア諸国に対する挑発的、かと思えない不穏当な最近の発言はこれら一連のこととは無関係とは思えません。今憲法を変えることがどうゆうことなのか、広く国民の皆さんへ、特に若い人たちに訴えていかなければなりません。

第九条(現行憲法抜粋)
【戦争放棄、軍備及び交戦権の否認】
 1. 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
 2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

遺留品返還・調査状況

平成18年2月現在

遺留品調査状況

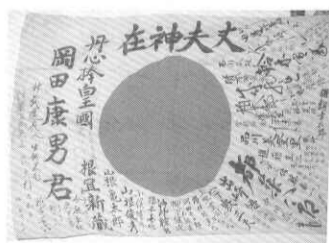
遺留品	旧所有者	依頼者	遺留品	旧所有者	依頼者
日章旗	波里	Martin C Connor	写真	細田 寿一	William G Cave
布	T.ARAKAKI	Martin C Connor	写真	城倉 寿男	William G Cave
日章旗	五十嵐 茶平	Ned Frederick	写真	中村 祐三郎	William G Cave
手帳	安慶名 孝一	Andy Williams	写真	清水 健次郎	William G Cave
写真	太田 榮昇	Orville B King	写真	岡本 金久	William G Cave
写真	太田 榮昇その他	Orville B King	写真	大澤 武通	William G Cave
写真	山浦	Orville B King	写真	並木 三次	William G Cave
メモ	松尾 種三	Dwight J Liggett	写真	田中 勝	William G Cave
メモ	原 輝重	Dwight J Liggett	日章旗	伊藤 勇	Karen Berger
写真	細江 五郎	William G Cave	日章旗	市橋 少尉	Kay Rapp
写真	伊藤 保正	William G Cave	日章旗	山田	James Mc Cartney
写真	高橋 康男	William G Cave	日章旗	岡田 康男	Brian Culham
写真	小林 武夫	William G Cave	日章旗	野中 正義	Douglas Turk
写真	蛭内 清一	William G Cave	日章旗	浅野 正太郎	Rick Fair
写真	西山 敏雄	William G Cave	日章旗	古賀 慎次	Alan Sheehan
写真	鈴木 千作	William G Cave	日章旗	相浦 信治	Paula Hebble
写真	菅 沼濱 夫	William G Cave	日章旗	加藤 昇	Cathy Kutschinski
写真	西村 百四	William G Cave			

情報等ございましたら、ご連絡ください。

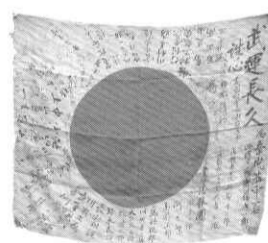
遺留品返還状況

遺留品	持ち主	依頼者	返還日
日章旗	中尾 茂	Michael A Sedia	平成17年12月14日
通帳	高畑 弘	Richard Verner	平成18年1月16日
写真	高畑 芳男	Richard Verner	平成18年1月16日
教科書	大城 義雄	琉米歴史研究会	平成18年1月27日
木札	山下 源蔵	琉米歴史研究会	平成18年1月27日
日章旗	苗加 源治	Kim Buyske	平成18年2月3日

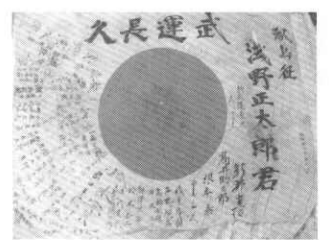
調査中の日章旗



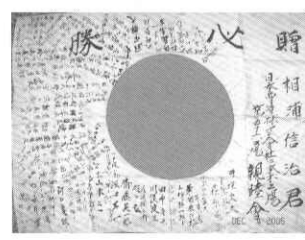
岡田 康男



五十嵐 茶平



浅野 正太郎



相浦 信治